

# 『子宮頸部細胞採取の手引き』

## コンセンサスミーティング開催のご案内

日時 2018年9月9日[日] 14:40～17:20

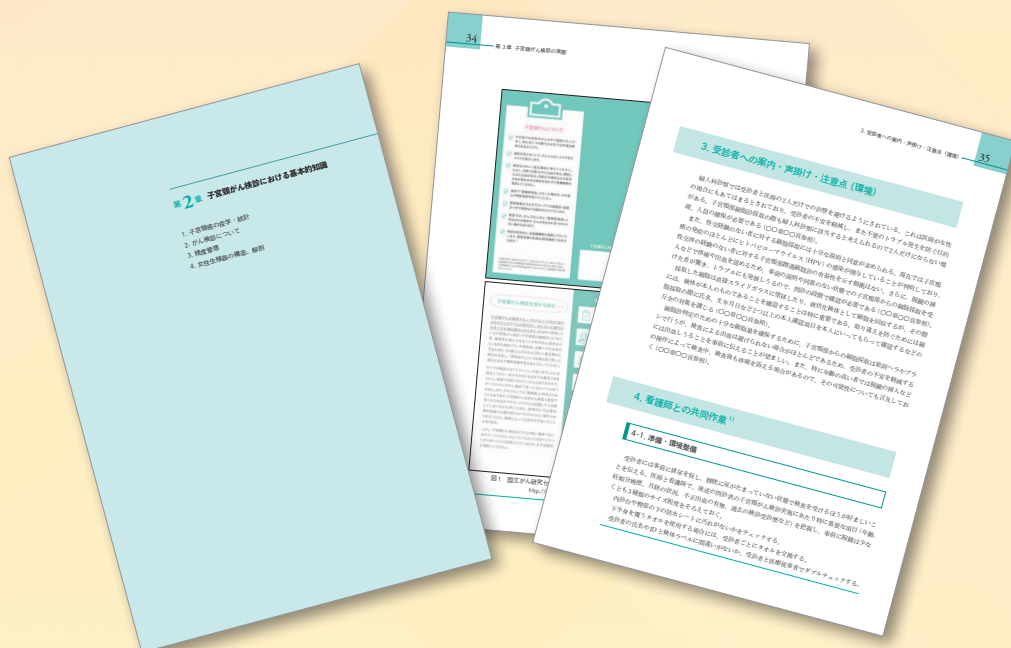
第27回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 2日目

会場 帝京大学板橋キャンパス 本部棟4階 会議室

### 開催趣旨

子宮頸癌の多くは、HPV感染が原因となり、前癌病変である子宮頸部上皮内腫瘍を経て発病することが明らかにされており、早期発見、早期治療により予防しうる疾病です。そのためには検診がもっとも重要で、病巣部の的確な細胞診、組織診が不可欠です。擦過細胞診による子宮頸がん検診は、細胞採取、標本作製、細胞判定、報告書作成の各過程を経て成立しますが、正確な診断を行うためには、まずは子宮頸部から適切に細胞が採取されなければなりません。

このたび、日本婦人科がん検診学会では、子宮頸部から適切に細胞を採取するために、日本を代表する婦人科腫瘍専門医が分担執筆して『子宮頸部細胞採取の手引き』制作を進めているところですが、よりよい成書とするため、各分担執筆者より内容説明を行い、参加者の方々のご意見を聞く場を設けることとなりましたので、活発な議論・討議を期待しております。



# 『子宮頸部細胞採取の手引き』目次案

## 第1章 はじめに

はじめに

## 第2章 子宮頸がん検診における基本的知識

1. 子宮頸癌の疫学・統計
2. がん検診について
3. 精度管理
4. 女性生殖器の構造、解剖

## 第3章 子宮頸がん検診の実際

1. 対象者
2. 受診者への説明
3. 受診者への案内・声掛け・注意点（環境）
4. 看護師との共同作業
5. 問診票で確認すべき事項
6. 細胞診採取時期の適否、妊婦の検診の注意点
7. 内診台使用時の注意点
8. 外陰部の構造と疾患

9. 採取器具とその特性
10. 子宮腔部の露出（腔鏡の使い方）
11. 腔、子宮腔部の視診と疾患
12. 細胞採取
13. 採取検体の処理法
14. 検体処理の手技
15. 検体管理
16. 採取時の出血への対応
17. 明らかな肉眼的浸潤癌発見時の対応

## 第4章 報告様式

1. ベセスダシステム
2. 結果による取り扱い（精密検診への案内）

## 第5章 精密検査

1. 精密検査とコルポスコープ検診
2. HPV検査

## 日本婦人科がん検診学会「子宮頸部細胞採取の手引き」 作成委員会委員および執筆者一覧

理事長	佐々木 寛（千葉徳洲会病院婦人科）
委員長	植田 政嗣（畿央大学大学院健康科学研究科）
副委員長	進 伸幸（国際医療福祉大学三田病院産婦人科）
委員	森定 徹（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）
執筆者一覧	.....
	佐々木 寛（千葉徳洲会病院婦人科）
	植田 政嗣（畿央大学大学院健康科学研究科）
	伊藤 潔（東北大学災害科学国際研究所災害産婦人科学分野）
	小田 瑞恵（こころとからだの元氣プラザvivi産婦人科）
	小笠原利忠（特定医療法人誠仁会 大久保病院婦人科）
	齊藤 英子（国際医療福祉大学三田病院予防医学センター）
	杉山 裕子（がん研究会有明病院細胞診断部）
	進 伸幸（国際医療福祉大学三田病院産婦人科）
	高橋 宏和（国立がん研究センター検診研究部検診実施管理研究室）
	寺本 勝寛（山梨県厚生連健康管理センター）
	西川 鑑（NTT東日本札幌病院産婦人科）
	藤原 寛行（自治医科大学産科婦人科学講座）
	宮城 悦子（横浜市立大学医学部産婦人科）
	森定 徹（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）
	横山 正俊（佐賀大学医学部産科婦人科）
	横山 良仁（弘前大学医学部附属病院産婦人科）